

【ポスター発表】

鎌倉小児保育園年報『保育の園』の分析

— 賛助員の推移 —

○ 日本社会事業大学 佐竹 要平 (5040)

キーワード：明治・大正期 キリスト教 賛助金

1. 研究目的

土佐出身の医師・佐竹音次郎が1896（明治29）年7月20日に創設した小児保育院は、その後名称を鎌倉小児保育園、鎌倉保育園（現在：鎌倉児童ホーム）と変え、今年で開設から119年が経過し、来年120周年を迎える。創立から鎌倉本部はじめ旅順、京城、台北、大連そして北京に支部を開設している。

佐竹音次郎は、「保(やす)んじて育つようにとの思いから保育を、神より与えられた祝福された地（園(その)）における生活」という意味で保育園との名称を利用している。

『保育の園』は1906（明治39）年に、財団法人設立を目指し、賛助員並びに基本金募集を目的に、一冊25銭で販売を目的として作成された事業報告書である。編集を内村鑑三門下の宮沢六郎牧師が行い、内村自ら「孤児を顧みよ」と題する序文を寄せている。

『保育の園』はその後も園の機関紙（年報）の題として使われ、1935（昭和30）年の第37号まで発行されている。

本研究では、年報『保育の園』を園の取り巻く状況により時期区分をし、その時期区分の賛助員の推移や収入における賛助金の推移を分析し、明治・大正期の慈善事業における賛助員（寄付会員制度）の実態を明らかにすることを目的としている。

表 時期区分関連年譜

時期区分	年数	名称	事項
第1	1896（明治29）年	小児保育院	7月 腰越医院に「小児保育院」併設、養育事業を始める
	1902（明治35）年	〃	6月 東京女囚携帯乳児保育会（会長板垣絹子）が設立。乳児を委託される。保育舎を増設する
第2	1906（明治39）年	鎌倉小児保育園	5月 鎌倉町大町（現鎌倉市佐助）に移転、定員を40名 7月 冊子『保育の園』発行、年報第1号
	1913（大正2）年	〃	4月 旅順支部設立
	1915（大正4）年	〃	8月 京城支部設立 12月 台北支部設立
第3	1920（大正9）年 ～ 1945（昭和20）年	鎌倉保育園	1月 財団法人設立認可。財団法人「鎌倉保育園」と改称

2. 研究の視点および方法

本研究は、年報発行の初期で、写しが入手できた第3号から第14号（第2期）を対象としている。この時期は、腰越の医院に併設して養育事業を行ってきたが、入所児が増え

手狭になり、新たに大町（現・佐助）に移転した1906（明治39）年から、財団法人設立が認可され名称が鎌倉保育園に変更した1920（大正9）年である。

方法としては、年報と『創立四十五年史』を中心に関係する史料の分析をし、鎌倉本部の年次ごとの収入や賛助員数、賛助金の推移を分析・検証する

3. 倫理的配慮

日本社会福祉学会の研究倫理指針に則り、引用等に際して十分に注意を払った。

4. 研究結果

賛助員制度を導入する前、1896（明治29）年から1904（明治37）年までは、創設者の医業収入で事業の支出を賄っていた。この間の経費を公開していない。初めて公開したのは翌年の1905（明治38年）からである。総収入は、7447.99円となっている。収入の大部分の6608.44円（89%）が移転費を得るための慈善書画会の収益金となっている。次いで創設者の医業所得からの繰入が5%に当たる390.70円であった。4%に当たる臨時寄附が307.80円である。益富政助の協力により作成した移転趣意書に共感した方より寄付されたものである。2%が匿名の募金である保育缶であった。

1908（明治41）年は、総収入は、3831.87円となっている。賛助金が705.02円（18.4%）で賛助員は397人、最高額は100円であった。

財団法人設立前の1918（大正7）年の総収入は6116.16円となっている。賛助金は1206.55円（19.2%）となっている。賛助員は469人、最高額は100円が2人となっている。

5. 考察

この時期は、まだ公的な助成が少なく、収入の多くを寄付や募金に頼らなければならなかった。賛助員が集まった要因に施設が鎌倉という別荘地にあったことが挙げられる。また、創設者の強い信仰により、多くキリスト教関係者がその支援者になっている。

この時期以降は、公的・私的な助成も多くなってくるが、賛助金をはじめ、寄付や募金は事業を継続するための中心的な収入源となっていることが検証された。

【主要参考文献】

佐竹音次郎編（1909 - 1920）『保育の園』鎌倉小児保育園．第3号—第14号．

益富政助編（1922）『聖愛』鎌倉保育園．

佐竹昇編（1940）『創立四十五年史』鎌倉保育園．

高橋芙蓉編（1966）『創立七十年史』鎌倉保育園．

高橋芙蓉編（1976）『創立八十年史』鎌倉保育園．

吉村良司編（1976）『日誌 佐竹音次郎』鎌倉保育園．

佐竹要平（2010）「佐竹音次郎と小児保育院—事業を支えた家族—」『キリスト教社会福祉学研究』42号、pp.92～99.

佐竹要平（2011）「佐竹音次郎と小児保育院—事業を支えた財政—」『キリスト教社会福祉学研究』43号、pp.90～96.